

### 県営名古屋空港開港20周年「エアポートフェスティバル」



2月15日（土）第1輸送航空隊は隣接する県営名古屋空港開港20周年記念イベント「エアポートフェスティバル」を支援しました。

当空港は、2005年に中部国際空港の運用開始と同時に「県営名古屋空港」として小型機専用空港として生まれ変わりました。それに伴い航空自衛隊小牧基地は、管制業務及び航空機救難消防に備える消火救難業務を現在も行ってます。

開会式において、来賓を代表して鮫島基地司令が空港の安全な運用及び益々の発展を祈念し祝辞を述べました。

また、記念イベントの目玉であるKC-767空中給油・輸送機は、あいち航空ミュージアム前駐機場へ地上けん引にて移動し、機内を開放して多くの来場者に見学してもらい、救難消防車両は、運転席への試乗及び航空機火災用防護服の体験試着等を行いました。この日は、春の訪れを感じさせる雲一つない快晴であり、大変多くの来場者を楽しんで頂くと共に航空自衛隊と小牧基地の活動を広く知ってもらう事が出来ました。



### 部外広報活動



2月9日（日）、基地広報班及び基地軽音楽部は小牧市商工会議所青年部からの依頼により「小牧市制70周年記念事業」の一環である「鳴子踊り祭り」を支援しました。

小牧駅東公園（メロディーパーク）で催されたこのイベントは、誰でも参加できるイベントを通して中心市街地の活性化をテーマに小牧市商工会議所青年部が企画し、小牧基地軽音楽部は唯一の音楽演奏グループとして出演依頼があり参加しました。最低気温氷点下の最強寒波到来の中、10チームの熱い鳴子踊りの間に小牧基地軽音楽部は更なる盛り上がりを見せるべく寒さをも吹き飛ばす8曲の熱い演奏で場を大いに盛り上げるとともに、広報班は職種紹介等のパネル展示し、航空自衛隊の活動等を紹介しました。